宇部工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	日本語表現

科目基礎情報

科目番号	0012	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	経営情報工学専攻	対象学年	専1
開設期	後期	週時間数	後期:4
教科書/教材	阿部紘久『文章力の基本100題』（光文社新書）		
担当教員	赤迫 照子		

到達目標

①語彙力・表現力を高めることができる。
②文の基本的な型を習得できる。
③小論文が書ける。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安（可）	未到達レベルの目安
評価項目1	ことばに関心を抱き、自主的に語彙力・表現力を高めることができる。	自主的に語彙力・表現力を高めることができる。	語彙力・表現力を高めることができる。	語彙力・表現力を高めることができない。
評価項目2	文の基本的な型をふまえて、簡潔かつ明瞭な文章が書ける。	文の基本的な型をふまえて、明瞭な文章が書ける。	文の基本的な型を習得できる。	文の基本的な型を習得できない。
評価項目3	論理的で、文の基本的な型をふまえた小論文が作成できる。	文の基本的な型をふまえた小論文が作成できる。	小論文が作成できる。	小論文が作成できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	第４学期開講。 日本語表現力を育む。具体的には「使用語彙を豊かにする」「一文一文を丁寧に書く」「論理的な小論文を作成する」である。
授業の進め方・方法	①語彙力・表現力を高めるための練習問題に取り組む。 ②文の基本的な型を習得するための演習問題に取り組む。 ③小論文を書く。作成準備の際には討議を行う。
注意点	・小テストと定期試験は、国語の常識問題である。 ・レポートは締切厳守。締切を過ぎたものは受けつけない。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 語彙力・表現力問題	漢字・故事成語・ことわざ・敬語などの学習を通して、語彙力・表現力を高める。
		2週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型①	語彙力・表現力を高める。 文の基本型を作ることができる。
		3週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型②	語彙力・表現力を高める。 簡潔に書く方法を理解できる。
		4週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型③	語彙力・表現力を高める。 分かりやすく書くための方法を理解できる。
		5週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型④	語彙力・表現力を高める。 的確に書くための方法を理解できる。
		6週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型⑤	語彙力・表現力を高める。 共感を得る書き方を理解できる。
		7週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型⑥ 小論文作成の準備	語彙力・表現力を高める。 書き言葉と話し言葉の差異を理解できる。 小論文作成の準備方法を理解できる。
		8週	語彙力・表現力問題 小論文作成①	語彙力・表現力を高める。 小論文の作成方法を理解できる。
	4thQ	9週	語彙力・表現力問題 小論文作成②	語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。
		10週	語彙力・表現力問題 小論文作成③	語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。
		11週	語彙力・表現力問題 小論文作成④	語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。
		12週	語彙力・表現力問題 小論文作成⑤	語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。
		13週	語彙力・表現力問題 小論文作成⑥	語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。
		14週	語彙力・表現力問題 小論文作成⑦	語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。
		15週	定期試験	
		16週	試験返却・解説	学習の総まとめができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	レポート	小テスト	口頭発表	合計
総合評価割合	10	70	10	10	100

知識の基本的な理解	10	40	10	5	65
思考・推論・創造への適用	0	20	0	5	25
汎用的技能	0	10	0	0	10
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考	0	0	0	0	0